

# Japio YEAR BOOK 2024

## 発行にあたって



一般財団法人日本特許情報機構  
理事長

細野 哲弘

Japio YEAR BOOK は、平成 17 年の創刊以来、知財情報に関する施策や取組、機械翻訳や特許検索等のテーマを中心に、各界第一線でご活躍の皆様からご寄稿いただくとともに、関連するシステムとサービスの情報を合わせてご紹介する「年誌」として、発行を重ねてまいりました。今年も、特許庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館、賛助会員、評議員はじめ関係各位の皆様のご声援を賜りつつ、Japio YEAR BOOK 2024 を発行することができましたことに、心より厚くお礼申し上げます。

さて、今回の特集テーマは、「知財情報×生成 AI」です。近年、AI 技術は急激に進化し、様々な分野において活用が進んでいます。特に、ChatGPT をはじめとする生成 AI の登場により、AI は、学習し自動化するのみにとどまらず、文章、画像、音声などの情報を自ら生み出すことができるようになりました。これに伴い、従来、人間のみが行ってきたアイデアの創出やデザインの創作などの活動を AI が担うことが可能になり、産業構造の転換ともいえる大変革が起こりつつあります。こうした状況の下で、知財を取り巻く環境はどのように変化しているのか？ 今回の特集では、生成 AI に関連する政策や知財の現場における生成 AI の活用の観点からその変化を読者の皆様にお届けしたいと思っております。

激変する世界において、新しいビジネスを生み出し、経済を維持・発展させていくためには、これまで以上にイノベーションが求められる時代となっています。イノベーションの創出には世界的規模での知財情報の分析と活用が必要不可欠といえます。本誌に掲載された記事や情報が、知財情報等のさらなる活用に向け、時代に先んじていくための一助となれば幸いです。

知財情報への期待が一層高まる中、産業財産権に関する質の高い情報を提供することにより経済・社会の発展に貢献するという当財団の経営理念に立ち返りつつ、皆様のご期待に応えられますよう、職員一同、専門性を磨き最善を尽くす所存であります。今後とも皆様のより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。